

平成23年度予算の概要

平成23年度予算について、その概要を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

[1] 資金収支計算

資金収支計算について、その主な内容を報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)		(単位：千円)		
科 目	23年度予算	22年度予算	増 減	
学生生徒等納付金収入	4,597,746	4,711,444	△ 113,698	
手数料収入	59,360	59,585	△ 225	
寄付金収入	86,000	97,141	△ 11,141	
補助金収入	999,824	999,670	154	
資産運用収入	32,399	35,720	△ 3,321	
資産売却収入	945,000	1,207,680	△ 262,680	
事業収入	105,294	101,835	3,459	
雑収入	149,735	211,519	△ 61,784	
借入金等収入	100,600	101,200	△ 600	
前受金収入	419,100	436,448	△ 17,348	
その他の収入	1,758,439	1,648,565	109,874	
資金収入調整勘定	△ 585,982	△ 690,050	104,068	
当年度資金収入合計	8,667,515	8,920,757	△ 253,242	
前年度繰越支払資金	2,451,939	2,634,585	△ 182,646	
収入の部合計	11,119,454	11,555,342	△ 435,888	

(支出の部)		(単位：千円)		
科 目	23年度予算	22年度予算	増 減	
人件費支出	4,067,466	4,223,563	△ 156,097	
(教・職員人件費、役員報酬)	3,794,401	3,858,618	△ 64,217	
(退職金支出)	273,065	364,945	△ 91,880	
教育研究経費支出	899,917	935,540	△ 35,623	
管理経費支出	287,411	302,020	△ 14,609	
借入金等利息支出	24,299	35,906	△ 11,607	
借入金等返済支出	297,590	630,790	△ 333,200	
施設関係支出	9,312	199,153	△ 189,841	
設備関係支出	115,867	117,192	△ 1,325	
資産運用支出	2,642,534	2,607,902	34,632	
その他の支出	381,694	381,432	262	
[予備費]	50,000	50,000	0	
資金支出調整勘定	△ 273,065	△ 380,097	107,032	
当年度資金支出合計	8,503,025	9,103,401	△ 600,376	
次年度繰越支払資金	2,616,428	2,451,939	164,489	
支出の部合計	11,119,453	11,555,340	△ 435,887	

当年度資金収支差額	164,489	△ 182,646	347,135
-----------	---------	-----------	---------

大学及び泉ヶ丘高校において入学者数および在籍予定者数が減少したため学費の減少を4,692万円見込みました。また、住吉、泉ヶ丘両高校及び幼稚園に対する授業料支援補助金や就園奨励費補助金1億4,235万円は、納付金でなく補助金収入に計上しております。

府経常費補助金については現在検討されている削減案(高▲10%、中▲35%、小▲50%、幼▲5%)にて計上、国庫経常費補助金については22年度算定基準により積算計上した予想額に対し10%減額計上(ただし文学部については受給条件が満たせないため未計上)にしています。高校実質無償化政策が拡大されることに伴い、府の授業料支援補助金が、6,677万円増額となります。

その他の固定資産の中の各種引当特定資産組入れ債券の年度内償還額のみを計上しています。

23年度は、定年退職者8名の退職金財団からの交付金(1億4,420万円)を計上しています。(22年度は、退職者15名、2億158万円を計上)

各種引当特定資産の債券や定期預金満期による繰入収入及び前期末未収入金(22年度退職者の退職金財団からの交付金)を計上しています。

23年度定年退職者分の退職金財団よりの交付金(期末未収入金)及び22年度前受金(前期末前受金)を計上しています。

今年度人事計画に基づく教職員の採用、退職、昇給等を勘案し、本俸、期末・勤勉手当を積算計上し、退職金については定年退職者の退職金を計上しています。

今年度法人全体の経常的な経費予算規模は、前年度予算比5%削減を行い、抑制的ではあるが費用対効果を考え、教育研究水準や学生生徒支援の充実に限られた財源の有効配分を行いました。また昨年同様「チューデントファースト」という基本原則に基づいて設けた法人戦略予算を、入試・広報、教育の充実、施設の充実の3つの分野に分け、予算の一層の選択と集中を行っています。また、住吉高校及び泉ヶ丘高校において府の授業料支援補助金制度に伴う法人の負担額(標準授業料58万円との差額)を奨学費支出として3,905万円計上しています。

22年度において、大阪府育英会からの借入金を繰り上げ償還したことや三菱東京UFJ銀行からの借入金完済となったことにより、借入金の返済は日本私立学校振興・共済事業団と学校債だけになっています。

各種引当特定資産の債券満期による繰入れ及び創立100周年引当特定資産へ1億円、また減価償却引当特定資産へ5千万円を繰入れします。

(注) 上記の表の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計及び増減の数値が計算上一致しない場合があります。以下の表についても同様です。